

計画主旨説明書

1 目的

本委託は、寒川第一地区仮設収容住宅解体工事を行うための実施設計業務委託である。

2 計画留意点・その他条件等

(1) 作業計画書・作業工程表

ア 作成にあたっては、予定している書上げ図面ごとの提出時期や作業担当者の明示、上記に係る申請・届出手続き期間の明示等、全体業務の工程管理を具体的に示し監督職員の承諾を得ること。

(2) 現地調査

ア 現地調査報告書は着手後 60 日以内に作成し、監督職員に提出すること。

イ 調査は以下項目を基本として実施すること。不足がある場合は適宜行うこと。

(ア) 既存建物の状況確認（既存図等との整合性確認含む）

(イ) 特記仕様書の追加業務・特別経費に記載した調査

ウ 結果をもとに問題点を整理し、監督職員・関係者と対応について協議すること。

エ 調査結果は、写真等を用いて整理し、現地調査報告書を作成すること。

(3) 設計業務

ア 関係者との打合せを十分に行い、設計内容に反映すること。

イ 工作物・植栽・電気・ガス・給水・下水の敷地境界における撤去範囲及び方法について、設計業務の中で関係者と協議の上、決定すること。

ウ 解体場所に適した解体方法を検討すること。

エ 仮設計画図について、施工中の留意事項（利用者、工事車両及び搬出入の動線、期間・時間、影響範囲等）を整理の上、安全に十分配慮した計画とすること。

また、施設管理者にヒアリング等を行い設計内容に反映すること。

オ 図面作成に当たっては既存図及び現地調査を基に、必要に応じて CAD 図面を描き起こすこと。

(4) 概略工程表

ア 施設特性（仮設計画及び施工不可な期間・時間帯等）を確認し反映させること。

イ 千葉市週休 2 日制工事（4 週 8 休）にした場合で検討し作成すること。

(5) 関係機関への対応

ア 協議や計画説明に必要な資料については、監督職員の指示に従い、適宜作成すること。

イ 原則、協議や計画説明には同席すること。

(6) 諸手続

ア 費用は、受託者の負担とすること。

(7) その他

ア アスベスト含有調査を行い、試験結果を踏まえて解体方法を検討すること。

また、調査結果は報告書にまとめること。

イ 現地調査時に目視等で石綿含有の恐れがある成形版等（レベル3相当）、吹付材や断熱材（レベル1、2相当）が想定以上に発見された場合は、監督職員と協議を行い、別途対応すること。